

2015 8/25

No.2001

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



五穀豊穰(ほうじょう)や悪疫退散を祈願する秦野市の「瓜生野(うりゅうの)百八松明(ひゃくはったい)」が14日夜、同市南矢名の龍法寺門前などで行われ、権現山山頂で点火した長さ2～3メートルのたいまつを同寺前まで担いで駆け下りた。



contents

視点・点描	3
手腕が問われる川淵会長	
経 済	4
物価の「基調」は着実に上昇 日銀、追加緩和なしを示唆	
国 際	6
世界揺るがす上海株式市場 中国悲観報道、日本と温度差	
国 際	8
韓国経済、MERSで打撃 対中輸出の不振も深刻化	
くらし2015	10
若くして動脈硬化が進行	
広告珍談	12
おもしろい乗り物② オムニバス！	
NNAアジア経済レポート	13
神奈川景気データファイル	14
神奈川景気データファイル	15

事務局だより

◇横浜定例講演会・臨時総会・ 会員懇親会

2015年9月18日(金)

横浜ベイシェラトン

ホテル&タワーズ

▽定例講演会

13時30分～15時、4階「浜風」

講師は政治ジャーナリストの

後藤 謙次氏

演題は「二期目に入る安倍政権
とTPP国会」(仮題)

▽臨時総会

15時10分～同20分、4階「浜風」

▽会員懇親会

15時30分～17時、4階「清流Ⅱ」

◇横浜定例講演会

2015年10月8日(木)

13時30分～15時

ホテルニューグランド3階

「ペリー来航の間」

講師は双日総合研究所副所長、

チーフエコノミストの

吉崎 達彦氏

演題は「どうなる日本経済と世界」(仮題)

視点 点描



手腕が問われる川淵会長

2016年秋に開幕するバス

ケットボール男子新リーグの陣容が固まりつつある。日本サッカー協会最高顧問でもある日本バスケットボール協会・川淵三郎会長の強力なリーダーシップで、分裂していた二つのリーグが統合されることが確実になり、来年のリオデジャネイロ五輪予選への出場も可能になった。しかし、バスケットを高めるための道筋は描けてい

ないのが実情だ。

7月30日に新リーグが発表した1〜3部のチームには、神奈川からナショナルリーグ（NBL）の東芝神奈川がトップの1部リーグに名を連ねた。このほか、NBLから昨季王者のアイシン三河など5チーム、TKB Jリーグからも昨季優勝の浜松・東三河など6チームが1部に入った。一方、1部入りを目指すbj

リーグの横浜はまだ参入する部が決まっていない。1部は最終的に16〜18チームになる見込みで、残された枠は4〜6とみられる。2、3部を含めた残り25チームの参入先は8月29日に発表される。

新リーグの発足は、1国1リーグを求める国際連盟（FIBA）から国際試合停止処分を受けたのが大きな契機となった。統一できなければ日本はリオ五輪予選に出場できなくなるとして、協会の改革を主導するタスクフォースのチエアマンに川淵氏が就任し、新リーグの誕生に取り組んできた。

まとまった参加条件（1部）は5千人規模のホームアリーナを確保する見通しが必要ではないなど厳しいものだった。当初は反発も予想されたが、最終的には全チームが参加表明した。「五輪出場がかかった状況では反対できな

い」という事情とともに、しがらみのない「川淵改革」への期待があったことも確かだろう。

ただ、5月に発足した日本協会の新体制は、川淵会長をはじめ体操選手だった小野清子副会長、Jリーグ常務理事でもある大河正明専務理事らバスケット界と縁の薄い人材が目立つ。外部に頼り切った改革に対しては、「FIBAも（その後を）一番心配している」と川淵会長も認めている。

特に、心配されているのは日本代表をはじめとする選手の強化策だ。各チームの経営体質改善も重要だが、日本代表が五輪に出場できるようになればバスケット人気は必ずと高まり、収益の改善にもつながる。指導者起用での川淵会長

の手腕が問われる。

（神奈川新聞運動部長

佐藤 浩幸）

オムニバス!

オムニバスという映画があった。いくつかの短編をくつつけて、一つにした映画のこと。もともとオムニバスとはラテン語で、〃万人向き〃という意味とか。それがいつしか、乗合馬車の意味になった。こまかな法案を乗客に見立てて、大きな法案を馬車に見立てて、いっしょに提出するアメリカの議会用語をオムニバス法案というそうな。

1872(明治5)年、横浜桜木町から東京新橋まで、日本最初の鉄道が開通した。それから2年後、鉄道の終点・新橋駅から東京市内へ、路線馬車が開通した。馬が引っぱる《乗合馬車》である。大手の千里軒は、「今般、欧米各国にて専ら行る、オムンバス」と称する二階建ての馬車、運転を始

め、客三十人を乗せ、浅草雷門より新橋汽車ステーションまで一時に達す。毎朝六時より午後八時まで、一日往復六回。途中での降り降りは自由。運賃は十銭、途中までは三銭」と74(明治7)年8月、新聞に広告を掲出した。

2階建て馬車の車体は、朱塗りのイギリス製のいまもロンドンで走っている、2階建てバスとそっくり。赤馬車と呼ばれて、運転手である馭者ぎやは、ピロッドの服を着てナポレオン帽をかぶって、「直輸入の欧化風景。

その名もオムニバスと呼んでいた」と、仲田定之助の『明治商売往来』にある。

ところが大事故が起きた。ある日の夕刻、浅草にさしかかって馬がとつぜん暴走。人力車をなぎたおし、乗っていた20代の女性が死亡。けが人もでた。東京府は2階建て、すなわちオムニバスを即刻禁止。「開化の品とはいひ、至極便利にはあれど、あまり大きうて迷惑人も多かり」と新聞が批判。

馬は気の荒い、アラビア産とも報じた。

2階建て馬車はわずか1ヵ月たらずで廃車になったが、平屋の馬車はげんき。川越から高崎・宇都宮まで、ますます路線を延ばして、ついに「千里軒 家がふとると馬がやせ」だ。

ひとつ困ったことがあった。馬は生き物、生きてるからウンコする。銀座も日本橋も、馬糞ばふんでいっぱい。風でも吹こうものなら、乾燥したウンコは舞いあがる、店に飛びこんでくる。ぶつぶつ文句いいながら、老舗の主人たちは歳月を越えた。

そんな旦那衆が愛用しただろう、レンタル馬車。馬はどこからか入手して車体はご覧のとおり、ふんわりと乗り心地よさそう。(美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住)

(図)レンタル馬車屋の広告・1892(明治25)年3月、朝日新聞に掲載



高等貸馬車廣告

社會の文運に伴ひ隨て馬車の需用日に頻繁を相加へ候に付本社の各種優等馬車十有餘種を常備し置き非常の勉強を奮發を以て最も誠實に廉價を旨とし一見御自用の物と差異なき江潮の御事注意し専ら實用的に倍舊御愛顧を以て陸續御用被仰付度幾重にも奉願上候敬白

●馬車及附屬品をも賣買可仕且定價表御入用之節も書御惠教次第早速御郵送申上候

神田今小路一丁目九番地
有限高等馬車株式會社
責任

92(明治25)年3月、朝日新聞に掲載